

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

「YAのページ」では、司書が週替わりでいろんなこと  
をつぶやいています♪あそびにきてね☆

野洲図書館のホーム  
ページはこちら→→



今号の内容は・・・

★表紙の1冊 ★見習い司書のオススメ ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

## 表紙の1冊

なんで言いなりになっちゃうんだろ？

### 『溺れながら、蹴りつける』

水瀬 さら／作 PHP 研究所 K913/ミ



<sup>うらら</sup>麗は本を読むのが好きだ。自分で小説を書くのも好き。でも、誰にも言えない。だって本を読むのは「キモい」ことだから。教室で本を読んでいる男子のことを、瑞穂がそう言ってから、それがクラスのルールになった。麗が小説を書いているのを知っているのは一人だけ、キモいと言われた男子・澤口だ。澤口と話しているときだけ、麗は息ができる。なのに、澤口との仲を冷やかされ、「あんなキモいやツ！」と澤口の目の前で言う。仕方ないよ、このクラスでやっていくにはああ言うしかなかった……。全部自分の言う通りにしてしまう瑞穂と一緒にいても楽しくないのに、今日も笑顔で教室を泳ぐ。

◆あ——。身に覚えあり。なんでか逆らえない人、クラスにいたな。私は、あえてカースト上位の女子に立ち向かうことはしなかったけど、麗は、自分が大切にしたいことにちゃんと気付く。ちゃんと気付いて、瑞穂に向き合う。澤口に「また明日ね」って言いたいから。(ち)

# 見習い司書のオススメ

職場体験に来てくれた中主中学校のみなさん&図書館実習に来てくれた大学生のおすすめの本です♪

## 『君を描けば嘘になる』

綾崎 隼／著 KADOKAWA 913.6/7ヤ

瀧本灯子は絵の才能がある。むしろ、絵しかなかった。小学1年生から美術教室に通い、寝食も忘れ感情の赴くままに絵の創作に打ち込む灯子。そんな彼女の世界に、南條遥都という少年が現れる。遥都は灯子にはない技術を持っており、彼にだけ心を開き始めるが…。

◆衝動的に絵を描く灯子と、課題でしか絵を描かない遥都という正反対の二人に加え、アトリエ講師関根実嘉らの視点で物語は進みます。なのでそれぞれの目線が読み取れ、この人物は本当はこういう考えでこの発言をしたのか、と気づいたときはドキッとしました。すれ違いによる心苦しさもありますが、苦くも温かいイラストをお楽しみください。(蒼)



## 『また、同じ夢を見ていた』

住野 よる／著 双葉社 913.6/ス



「人生とは和風の朝ごはんみたいなものなのよ」。小柳奈/花は「人生は～」が口癖の、ちょっとませた小学生の女の子。クラスでも家でも孤独な奈/花が「友達」と呼ぶのは、尻尾がちぎれた1匹の猫。この猫との出会いは、様々な過去を持つ女性たちとの不思議な出会いに繋がっていき—。

◆印象に残ったのは、奈/花がクラスメイトに嫌われ悩んでしまう場面。そんな時、同じような過去を持つ「アバズレ」さんから言葉をもらい、成長を遂げるところが感動します。少しずつ、奈/花と三人の女性たちとの関係が明かされるところが、とても衝撃的です。(F.S)

## 『冴えない彼女(ヒロイン)の育てかた』①-⑬

丸戸 史明／著 KADOKAWA(富士見ファンタジア文庫) B913.6/マル

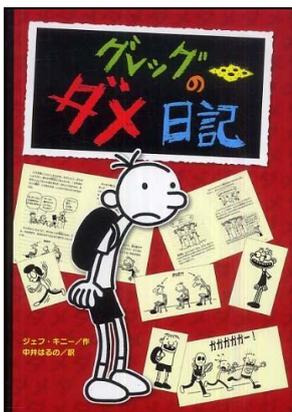
ギャルゲー&アニメオタクの安芸倫也が出逢ったのは、目立たないクラスメイトの加藤恵。彼女をヒロインにふさわしくプロデュースして、ギャルゲーを製作!? 劇場版も公開された「メインヒロイン育成コメディ」。

◆やっぱりヒロインが全員かわいい!どのキャラもいろんな性格を持っていて、幼馴染キャラや年上キャラなど、自分の好みのキャラと出会えます♪そして、その一人一人のストーリーが感動的で…。特に倫也と初恋の子のお話は泣けました。(T.R)



## 『グレッグのダメ日記』①-⑰

ジェフ・キニー／作 ポプラ社 K933/キ



このノートは記録ノートで、日記帳じゃない。グレッグ・ヘフリーのダメダメな日常を描く、非日常的記録!?

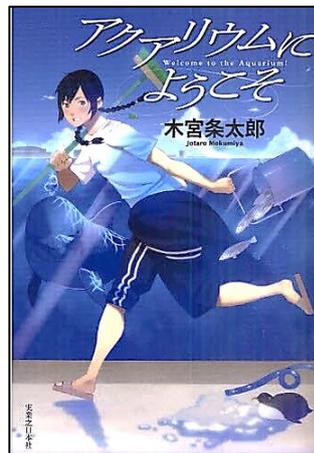
◆海外の作品ですが、日本人向けにわかりやすく訳してあるのでとてもおもしろいです。さらに文章の中にイラストがたくさん入っていて、ギャグが連発するのですらすら読めます。個人的に好きなのは、グレッグの弟マニーが登場する「にいパイ」の話。シリーズが何巻もありますが、どこから読んでも楽しめます。(K)

## 『アクアリウムにようこそ』

木宮 条太郎／著 実業之日本社 913.6/㊦㊧

観光事業課に勤めて3年になる由香は「市立水族館アクアパーク」への出向を命じられる。配属された「イルカ課」には、飼育への情熱を持ちながらも無愛想な先輩・梶やいたずら好きなイルカたちが待っていた。新米イルカ飼育員の奮闘を描く感動のお仕事小説！

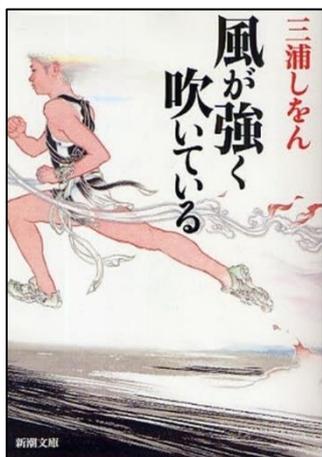
◆由香が何も知らないところから、どんどん用語や方法を覚えていくところが、子どもの成長を見守るような気分で読めます。また梶との距離が縮まっていく様子は、何度読んでもドキドキします。イルカの飼育についても学ぶことができるので、将来水族館で働きたい・飼育員になりたいと思っている人はぜひ読んでみてください！（匿名A）



※『水族館ガール』の1巻目です。2巻以降は改題された「水族館ガール」を所蔵しています。

## 『風が強く吹いている』

三浦 しをん／著 新潮社(新潮文庫) B913.6/㊦㊨



長距離ランナーにとって夢の大舞台ともいえる「箱根駅伝」。竹青荘に住む10人の住人たちは、同じく住人の灰二の提案により、一年そこそこの練習期間で箱根駅伝の出場を目指すこととなる。マラソン経験者が2人しかいない即席で編成されたチームは、無謀ともいえる挑戦に臨んでいく。

◆控え選手もいない、素人だらけのチームが一年で箱根駅伝を走る。ありえない設定すぎて最初は「できるわけないだろう」とツツコミたくなるだろう。しかし読み進めていくほど、不思議と「いけるかもしれない」と思っている自分がある。彼らの人間模様はもちろん、個々の走りに対する思いが細かく描かれていて、いわゆる「青春もの」に興味がなくてもページをめくる手が止まらない！（ゆ）

# 司書のオススメ Recommendation

うつくしくもおそろしい少女鬼譚

## 『獄門撫子此処ニ在リ』

伏見 七尾／著 小学館(ガガガ文庫) B913.6/7㊦



獄門撫子は、化物すら畏怖する凶家「獄門家」の、化物を喰らうさだめの娘。しかし、自らを怖れぬ胡乱な女、無花果アマナとの出逢いが撫子を変える。鬼の身体に人の心を宿した少女と、ヒトの身に異形の魂を抱えた女の園が血の物語の封を切る。次々と怪異に挑むうち、2人は目を背けていた己そのものと対峙し…。

◆なかなかのグロいシーンが連発されるのに、気づけばどんどんハマってしまいます。W主人公の撫子とアマナのかみ合っているのかいないのかわからない絶妙な掛け合いが読みどころ。他にも、何かとイタイ登場人物たちが憎めません。その上、みんな口が悪いときています。個人的には、作中の食べ物がどれも美味しそうでたまりませんでした。もちろん鬼のステーキは遠慮したいのですが。（る）

# NEW ARRIVAL

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル	著者	出版社
論理の鬼	小野田 博一/著	河出書房新社
ボクの故郷は戦場になった	重延 浩/著	岩波書店
国語の時間	松井 大助/著	ペリかん社
遠くの人と手をつなぐ	千葉 望/著	理論社
恐竜がもっと好きになる化石の話	木村 由莉/著	岩波書店
10代のための疲れた体がラクになる本	長沼 睦雄/著	誠文堂新光社
木が泣いている	長濱 和代/著	岩波書店
ぼくらの胸キュンの作り方	神戸 遙真/著	講談社
虹色のパズル	天川 栄人/作	文研出版
いつものところで	中澤 晶子/作	汐文社
金曜日のあたしたち	濱野 京子/作	静山社
私の心臓は誰のもの	藤白 圭/著	河出書房新社
サイレント・ウィッチ 6	依空 まつり/著	KADOKAWA
天使たちの課外活動 10	茅田 砂胡/著	中央公論新社
水属性の魔法使い 第1部[7]	久宝 忠/著	TO ブックス
この夏の星を見る	辻村 深月/著	KADOKAWA
優等生サバイバル	ファンヨンミ/作	評論社
クリムヒルトとブリュンヒルト	東崎 惟子/著	KADOKAWA
忘れさせてよ、後輩くん。 3	あまさきみりと/著	KADOKAWA
勇者症候群 2	彩月 レイ/著	KADOKAWA
アオハルデビル 3	池田 明季哉/著	KADOKAWA
七つの魔剣が支配する 12	宇野 朴人/著	KADOKAWA
青春ブタ野郎はサンタクローズの夢を見ない	鴨志田 一/著	KADOKAWA
バスタブで暮らす	四季 大雅/著	小学館
透明な夜に駆ける君と、目に見えない恋をした。	志馬 なにがし/著	SBクリエイティブ
りゅうおうのおしごと! 18	白鳥 士郎/著	SBクリエイティブ
いつか憧れたキャラクターは現在使われておりません。	詠井 晴佳/著	小学館



編集後記：◆久しぶりに実家に帰ってきました。弟は何歳になっても、ハゲつつあっても、かわいいものですよ。(ち) ◆いいなあ(ち)さんうらやましー。一人っ子でお菓子もおもちゃも独り占めできたけど、わたしも可愛い弟ほしーい。今更どうにもならんけど。(る) ◆研修の自己紹介カードで特技を書かねばなりませんでした。ひねり出したのは「フラフープ」。無限に回せます。え、そういうことじゃない?(ざ) ◆今回のやすど!は職場体験で中主中学校から来てくれた、蒼さん・F.Sさん・T.Rさん・Kさん・匿名Aさん、そして司書実習に来てくれた大学生の(ゆ)さんと作成しました。みなさんありがとう!